

運動部活動の地域移行に向けた実証事業 最終報告

1. 基本情報

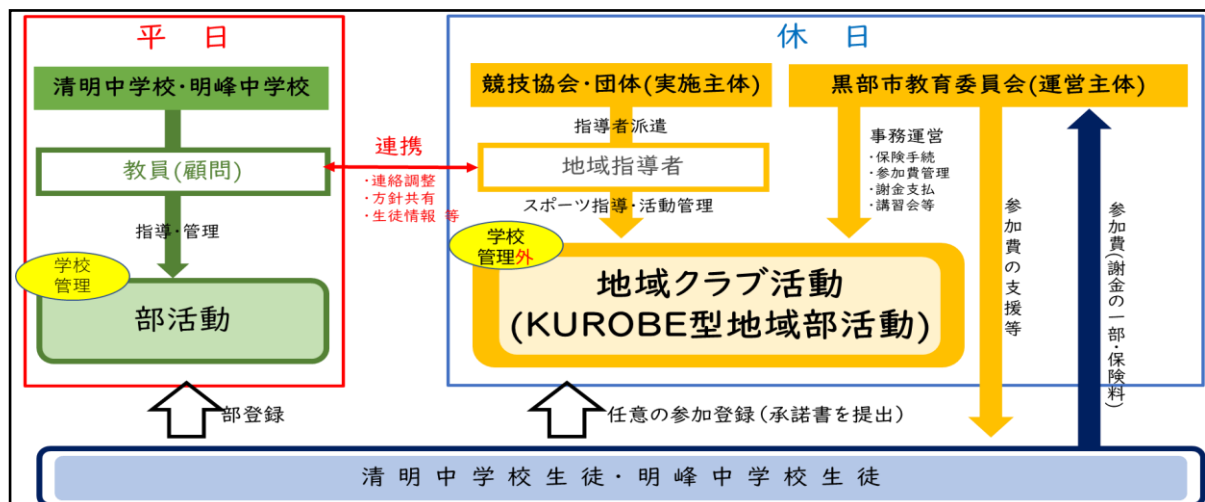
黒部市

基本情報

中学校数	2校	休日の部活動の地域移行に取り組む中学校数	2校	平日の部活動の地域移行に取り組む中学校数	2校	協議会・検討会議等の設置状況	済
中学校生徒数	1,068人	休日の部活動の地域移行に取り組む部活動数	24部活	平日の部活動の地域移行に取り組む部活動数	3部活	推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向け、計画・検討中
部活動数	30部活	休日の部活動の地域移行に取り組むクラブ数	12クラブ	平日の部活動の地域移行に取り組むクラブ数	2クラブ	休日の部活動の完全移行予定年度	体制の整ったクラブから随時

運営体制・役割

▼運営体制図



- 【単独活動】 清明中学校 ①軟式野球
明峰中学校 ②女子バレーボール ③男子バスケットボール ④女子バスケットボール
⑤アーチェリー ⑥軟式野球
- 【合同活動】 両中学校 ⑦陸上競技 ⑧柔道 ⑨剣道 ⑩バドミントン ⑪ソフトテニス ⑫卓球

➤ 実施可能な部活動から進めています。＜12クラブ活動（対象：24部活動）＞

▼運営体制組織内での役割分担

- 教育委員会（スポーツ課）
 - ・検討委員会の事務局・開催
 - ・指導者研修会の企画・運営・報告
 - ・クラブとの連絡調整
 - ・県教育委員会との連絡調整
 - ・検討委員会の事務局
 - ・市スポーツ協会との連絡調整 等
- 首長部局
 - ・特になし
- 市町村体育・スポーツ協会、総合型SC
 - ・競技団体との連絡調整
 - ・指導者の派遣 等

2. 実証内容と特色

黒部市

取組内容

各競技協会、競技団体より62名の指導者登録（昨年55名）
◆面的・広域的な取り組み
2クラブで平日の活動を実施（男女バドミントン、明峰男子バスケットボール）
企業との平日合同練習を実施（柔道）
試行の段階だが、平日の活動（週2回）を実施（剣道）
スポ少と合同で休日部活動を実施（卓球）
◆参加費用負担への支援等
就学援助世帯への支援継続（現在までに13名申請：昨年11名）
◆学校施設の活用等
旧中学校、小学校の体育館、グラウンド等の利用

特 色

☆他団体との連携

スポーツ少年団、企業といった他団体との連携で活動を始めたクラブが存在し、積極的に他団体との連携を考えているクラブもある。

今後、単独でクラブ化が困難なところは、他団体との連携を推奨し、連携しやすい体制を整備する。

年間の事業スケジュール

R 6 年	
4月～	令和6年度活動スタート、管理運営
4月	1年生向け説明資料の配布
5月上旬	1年生参加登録
7月下旬～8月下旬	対象部指導者とのヒヤリング
8月～10月	保護者へ参加料の納付案内
11月下旬	地域移行方針に向けた中学校校長との協議
11月～12月	各競技ごとの話し合い、ヒヤリング
12月上旬	対象部生徒・顧問アンケート実施

R 7 年	
1月	あり方検討会
1月下旬	中学校説明会で新入生へ説明
3月上旬	新規開始部活動説明会
	教職員向けに理解促進のための資料配布
3月下旬	指導者説明会
3月末	新2,3年生参加登録

通 年

競技関係者との打ち合わせ、課題検討

参加者管理（参加登録、保険対応等）

指導者管理（指導者登録、報告書管理、謝金支払）

成果と課題

- ◆ 2クラブで平日の活動を実施(男女バドミントン、明峰男子バスケットボール)
企業(YKK)との平日合同練習(週2回)を実施(柔道)
試行の段階だが、平日の活動(週2回)を実施(剣道)

→課題: 現在、無償での活動となっており、平日活動への指導者謝金に対する予算の確保

- ◆ 平日移行、完全移行に向けて、多くの競技に共通した課題(指導者ヒアリングより)

→課題: 学校開放の時間や規約の整備。

『学校部活動終了(17時)～学校開放開始(19時)までの時間の扱い』
スクールバスの運行スケジュール見直し、電車利用者への配慮が必要

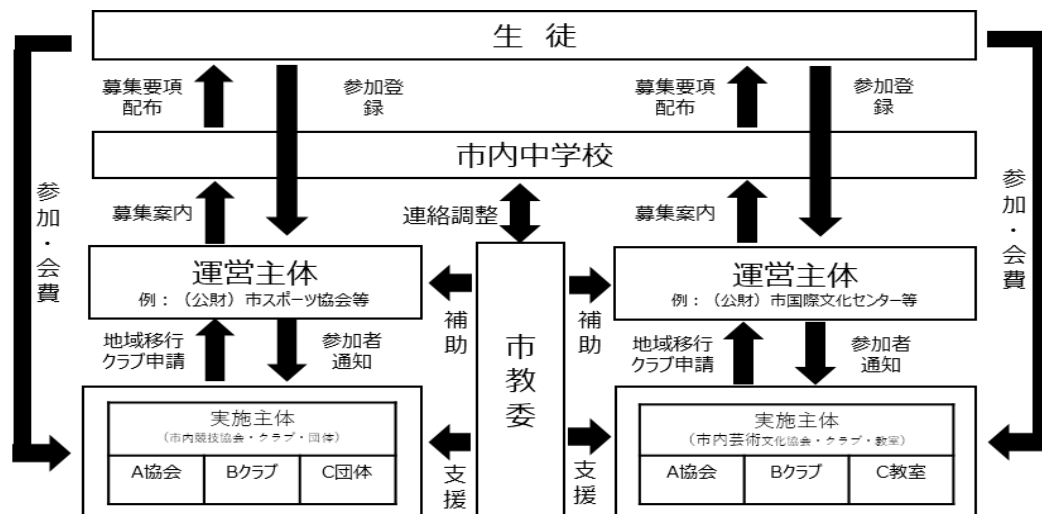
- ◆ 旧小、中学校の体育館、グラウンド等の施設利用

→課題: 予約状況の見える化、利用時の規約作成 など

4. 課題解決に向けて、今後の方向性

黒部市

課題解決に向けて



◆ 主な課題

- ・運営主体団体の決定、体制の整備
- ・予算の確保
- ・登録要件、負担金額など規約の制定 など

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

